

# 木材ジャーナル名古屋・世ぶ

平成31年1月号 No.140

名古屋木材組合  
名古屋港木材産業協同組合



“いま、木に本気” 暮らしに活かそう木の良さを



## 年頭のごあいさつ

名古屋木材組合  
組合長 西垣 洋一

### 新年の干支「己亥」— 新芽の息吹、新たな胎動の始まりを示唆する年

2020年以降の大変革・転換期に向け、新たな「需要・顧客創造」を！  
非住宅の中大型建築物の木造・木質化の推進プロジェクトを始動！

新年を迎え謹んで新春のお慶びを申し上げます。  
旧年中は皆様には、組合の活動に格別のご高配を賜り厚く御礼を申し上げます。

2018年を振り返りますと、米国を中心に世界景気は堅調に推移したものの、米中貿易戦争の激化、混迷を深めるブレクジット(英国のEU離脱)、中東問題など不透明感が強まる中、年末には世界的な株安連鎖が起こり、大規模な金融緩和からの脱却は、様々な困難が伴う「ナローパス(狭い道)」であることを突きつけました。又日本では、昨年「災」が選ばれるなど、地震・豪雨・台風・記録的な猛暑など大規模自然災害が多発、私たちの生活に多大な影響を及ぼし、又企業活動においても工場が操業停止に追い込まれるなど、リスクに対する備え、BCP(事業継続計画)の必要性が痛感される年でした。

2019年の干支は「己亥(つちのとい)」です。「己」の年は、完成した自己や成熟した組織が、足元を固めて、次の段階を目指す準備をする年と言われています。又、「亥」の年は、翌年から始まる次の種の成長に備えて、個人は、知識を増やし精神を育てる。組織は、人材育成や設備投資、財務基盤を固めるなど、外に向けての活動ではなく、内部の充実を心がける年となります。「己」、「亥」そろって意味することは、内なる充実をはかり、次のステージの準備をする年ということです。まさに平成の時代が終わり、次の時代への移り変わりに対ししっかりと体制を準備し、それぞれの目標に向かって進み始める年と言えます。2019年には、天皇陛下の退位、新天皇の即位、新元号への改元、6月2日には第70回全国植樹祭あいち2019の開催、10月には10%への消費増税も予定されています。

この消費増税の業界への影響は、政府による増税時の様々な景気下支え策により増税前の住宅取得のほうがかは、所得やローン金額などによって一律でないことが明らかになり、様子見に入った可能性が高く、駆け込み需要の発生はほぼなく、増税の反動は軽微に留まるものと思われま

「循環型社会の形成」が叫ばれる現在の木材・建材業界の状況は、新設住宅着工数の中長期的な減少(2030年55万戸の予測)が避けられない中、「ウッドファースト社会の実現」に向け川上から川下が一体となって、木材利用の推進、新たな木材需要の創造、顧客の創造に取り組んでいます。木造建築の耐震や耐火等の技術革新も進み、国は建築基準法の一部改正や法制度の見直し整備を進めています。

業界が為すべきことは、2020年以降の大変革・転換期に備え、従来の低層新築住宅に加え、①非住宅の中大規模建築の木造・木質化を図り、②既存住宅のリフォーム需要の掘り起こしと空き家と中古住宅流通を地元の不動産企業や金融機関、地方自治体との連携を進めることです。又③業界の将来のための人材の育成、「働き方改革」の推進、「BCP(事業継続計画)」の策定も重要となります。

組合としましては、潜在需要(1棟37坪換算で約25万5千棟)の大きな非住宅の中大型建築物の木造・木質化に関して、その推進・普及に向け具体的には、「非住宅の中大型建築物の木造化・木質化の推進プロジェクト」を始動、その一助を担って参ります。非住宅の木造化への入り口は、今まで縁が薄かった設計士や建築技術者への木材の理解を深め木材利用の推進を図ることが大切になります。設計士は現場監理、監督の役立ちが大きく、それを施工する技術者も重要な位置にあるからです。推進・普及には、設計士(愛知建築士会)や建築技術者のみならず、製材工場、建築会社・工務店などの地域経済の担い手とネットワークを構築、地域の「産・官・学」の連携を図り、研修会などを通じて中大規模木造建築物のプロを育成しなければなりません。そして「共創」・「共働」の理念の下、木材の消費地としての地域力を高め、「地域創生」の取り組みを図って参ります。

最後になりますが、本年も皆様方のご尽力をお借りし、業界の新芽の息吹、新たな胎動の始まりの年となるよう、私自身も業界の発展の為、精一杯努力していく所存です。本年が皆様にとって素晴らしい1年になりますことを祈念して新年のご挨拶とさせていただきます。

## 年頭のごあいさつ



名古屋港木材産業協同組合  
理事長 嶺木 昌行

新年のお慶びを申し上げます。

名古屋港木材産業協同組合では昨年、名古屋西部木材港開港50周年の記念行事を盛大に執り行わせていただくことができました。その折には皆様方に多大な尽力、ご協力をいただきまして、改めて感謝、御礼申し上げる次第です。

この50周年記念の諸行事を通じて強く感じましたことが3つほどございます。第一は、戦後の木材世代が第三世代（孫の世代）へ無事に、かつきちんと継承されつつあるということです。西部木材港を造ったのは戦後の第一世代、私たちの父たちの世代でした。それが昭和60年代以降になると業界がデフレに陥り、私たち第二世代（子の世代）は必死にデフレに対応してまいりました。西部木材港で言えば、昭和43年のスタート時200社以上あった木産協メンバーが50年経った今では68社と、1/3にまで縮小してきたという現実であります。私はこの68社が今後更に減るとは思いますが、今回の50周年事業で若い実行委員の方々（第三世代・孫の世代）の行動を見ていますと、デフレしか知らない世代とあってか大変エネルギーで、未来をしっかり見据えて行動していたことが頼もしく思えました。若い次の世代が希望を持って進む道は必ずや大きく拓けるものと期待いたします。

確信の第二は、木に関する業者全体のまとまり。270名に及ぶ木材に関するあらゆる業者がひとつに集まり、未来を語り合えたことです。そして、そのことはまさしく木材の時代が到来しつつあるという認識です。戦後70年以上続いた自由競争・資本主義経済社会は肥大化しすぎたゆえに矛盾に陥り、大量生産・大量消費社会は立ち行かなくなりつつあります。過当競争・弱肉強食の資本主義社会から、共存・平和を求める循環経済社会への転換は、地味ではありますが人間らしい生活が期待できます。無機質な鉄筋ビル建造物から温かさと生命の息づかいを感じさせる木造建造物への移行は、人と自然との共生を認識させるものです。上へ上へと高さを求めた鉄筋ビル建造物から、平面的で横への広がりを求める木造建造物への移行は、「勝つ」建造物から「共存する」建造物への価値観を認識させてくれるものでもあります。温かみのある人間らしい街づくりを、「木造」を通じて実現して行きたいものです。

第三は、名古屋の時代の到来です。このことについて特に強い根拠があるわけではありませんが、強いて言えば、当地区は無理することなく成長している自然性、第一次産業・第二次産業を大切にしている真面目さ、そして地元（名古屋又は愛知県）で人生のすべてが賄える自己完結型社会でしょうか。更には、上に伸びる都市東京とは違って、横に広がる街づくり名古屋の精神は、先に述べた「勝つ」人生から「共存する」人生への価値観の違いを感じさせてくれます。

名古屋にいる木材業者の方々、木材に関する事業者の方々、私たちの時代の到来です。

お知らせ

☆☆☆ 飛島村との懇談会 ☆☆☆

名古屋港西部臨海地帯に立地する木材・鉄鋼・コンテナ・造船・電力・倉庫など10グループで構成する企業連絡協議会（嶺木昌行会長）は、12月6日に飛島村公民館分館で、飛島村、名古屋港管理組合、蟹江警察署、名古屋国道維持第三出張所の責任者と懇談会を開催し、飛島バスの利便性の向上、梅之郷等の渋滞対策、西部税関前の交差点信号の改善、造船団地の北水域の漁業行為の規制、団地倉庫周辺の放置シャーシーの規制、雨水の排水対策、電線にかかる樹木の剪定、道路に出てくる雑草の除草などについて話し合われました。



飛島村との懇談会

☆☆☆ 西部臨海安全ニュース ☆☆☆

住宅を狙った侵入盗被害が多発 !!

昨年中、蟹江警察署管内では一般住宅を狙った空き巣や忍込み被害が多発しました!!  
忍込み被害では無施錠箇所から、空き巣被害では施錠してある玄関ドアをこじ開けて侵入されています。

【防犯上の注意点】

- ・ 出かけるときや就寝時は必ず施錠を確認し、補助錠を活用しましょう！
- ・ 防犯カメラ、センサーライト等の目に見える防犯対策、ドアこじ開け防止対策としてガードプレート等の防犯グッズの設置をお願いします！

◆ 広告コーナー

快適な環境づくりに取り組む

**INOUE**

■バグフィルター集塵機	■破砕機 ウッドグライnder	■木質ペレット製造装置
■サイクロン集塵機	■粉砕機 ファンシュレター	■ブリケッタ
■定量排出装置	■火花探知器・安全装置	■送排風機
■トラック積載装置	■異物除去器	■ダクト部品

**井上電設株式会社** | 名古屋市中区金山4丁目3-17  
TEL (052) 322-5271  
FAX (052) 332-5273  
http://www.inoue-d.co.jp E-mail:tech@inoue-d.co.jp

Global Presence  
**KOMATSU**

こんどは3トン車の  
モーターを  
2.5トン車に載せた。  
パワーUPするに  
決まっている。

いまではさらに上回るパワーを、誕生、ディーゼルのようには無い、バッテリーフォークリフトだ。  
容量が50%アップ、負荷能力が20%アップ、そして、駆動が50%アップ。この結果が、  
ニューモデルの登場だ。さらに、搭載するバッテリーのイメージを大きく変えるパワー  
が、思いのほかにも、従来の車に比べて、2.5トン車に載せられる。導入コストが抑えられ、  
さらに、従来の車よりも、パワーアップを、同時に実現できる。新しい時代が、  
3トン車のモーターを載せ、パワーアップを実現、従来と異なり、1台が生まれた。  
**FE25H-1**  
ELECTRIC FORKLIFT TRUCK

発行 名古屋木材組合  
発行者 西垣洋一  
〒460-0017 名古屋市中区松原2-18-10  
TEL <052> 331-9386  
FAX <052> 322-3376  
【編集】名古屋木材組合広報委員会

発行 名古屋港木材産業協同組合  
発行者 嶺木昌行  
〒490-1444 海部郡飛島村木場1-74  
TEL <0567> 57-2017  
FAX <0567> 57-2018  
【編集】名古屋港木材産業協同組合広報委員会